

日本農業法人協会の概要について

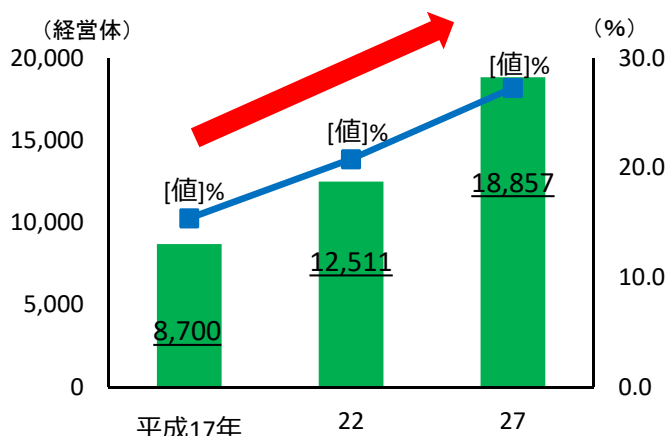
平成29年9月26日
公益社団法人日本農業法人協会
会長 山田 敏之



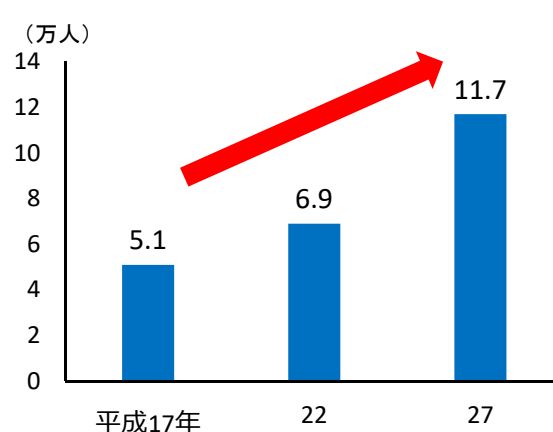
1) 農業法人及び雇用就農者数の推移

この10年間で、農業法人数は**2.2倍**、雇用就農者数は**2倍**に増加

地域の農業生産基盤の維持や雇用の受け皿等として、農業法人に求められる役割が増大



販売目的の法人経営体数及び農産物販売金額全体に占める法人経営体のシェアの推移



法人経営体の常雇い人数の推移

資料：農林水産省「農林業センサス」

2) 協会の理念

基本理念

価値観

- ◆ 自然・生命の摂理を重んじ、農産物の供給責任を果たします
- ◆ 世界的視野に立ち、農業の牽引者として、経営革新を行い、政策改革に取り組みます

協会目的

- ◆ 日本農業を生命総合産業に発展させ、すべての人と夢・希望を共有できる職業にします
- ◆ 農業経営の先駆者として自己革新により自立的農業経営を確立します

2

3) 協会の目指すべき未来

目指すべき未来

目標

世界最高品質の農業経営を実現し、その成果によって社会を幸福にする

未来像

- **農業が若者の将来就きたい職業の第1位となる**
- 最適な価格と品質で、生産・流通・消費の関係がつくられる
- 農業が魅力ある投資分野になる
- 社会全体が農地の役割や大切さを共有する
- 技術・サービス・情報が農業の領域を超えて融合し、新たな農業を創造する
- 地域が社会にとって豊かさの象徴となす
- 農業を通してすべての人が生命の尊さ、環境の大切さを実感する

3

4) 協会の概要

(名 称) 公益社団法人日本農業法人協会

(所在地) 東京都千代田区二番町9-8 中央労働基準協会ビル1F

(設立日) 平成11年6月28日

(目 的) わが国農業経営の先駆者たる農業生産法人その他農業を営む法人の経営確立・発展のための調査研究、提案・提言、情報提供等の活動を進めることにより、わが国農業・農村の発展と国民生活の向上に寄与する

(会 員) 正会員：**1,923**

賛助会員：7

アグリサポート倶楽部会員：153

*アグリサポート倶楽部：金融機関、税理士等専門家やコンサルタント、メーカー、団体等
(会員数は平成29年9月8日現在)

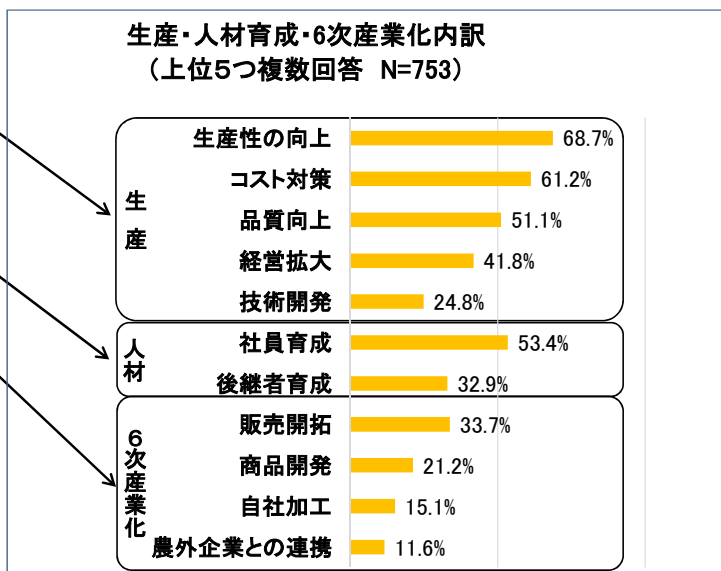
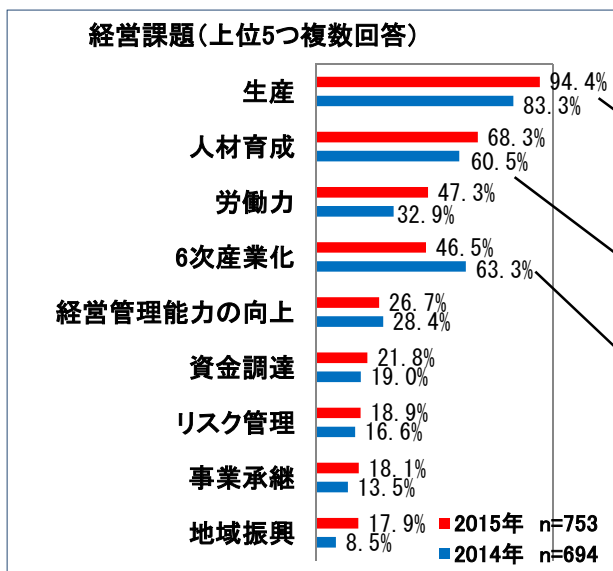
日本で唯一の全国的な農業法人のネットワーク組織

4

5) 会員のプロフィール

《会員の経営課題》

- 「生産」に関する事項が94.4%、同内訳では「生産性の向上」68.7%が最多
- 生産以外では、「社員育成」53.4%、「販路開拓」33.7%が上位



6) 協会の活動

重点取組

- プロ農業経営者の視点からの政策提言活動の推進
- 農業法人等の経営基盤の強化に向けた取組の推進
- 都道府県農業法人組織・関係団体との相互連携の強化
- 会員拡大の推進と組織基盤の強化

会員のステータス向上
協会の存在価値の向上

■ 調査・情報活動

- 「農業法人白書」の発刊
- 「アグリビジネス経営塾」の発信
- 「政策動向ニュース」の発信
- 「経営支援プロジェクトニュース」の発信

経営にかかわる最新情報の提供

■ 提言・提案活動

- 農林水産省・政党等への政策提言・要請
- 政党、中央官庁との意見交換や審議会・研究会等への参画

経営発展できる環境の整備

6

6) 協会の活動

■ 研修・教育活動

- 「全国セミナー」の開催
- 「次世代農業サミット」の開催
- 「9ブロック交流研修会」の開催
- 「自主的研究会」の支援

会員同士のネットワークの構築

■ 経営改善支援活動

- 農業経営にかかわる相談窓口
- 金融、保険サービスの支援
- ビジネスマッチング・農産物輸出促進の支援
- アグリサポート倶楽部会員との情報交流会の開催
- 国際水準のGAP取得のための情報発信

競争力のある農業経営の実現

7

6) 協会の活動

■ 人材確保・育成活動

- 農作業安全基礎研修会の開催
- 農業インターンシップ事業の実施
- 外国人技能実習生の研修・受入事業の実施
- 農業界と経済界の人材マッチング推進事業の実施

多様な農業人材の確保
従業員の能力の開発

■ 啓発・普及事業

- ファーマーズ&キッズフェスタの開催
- 講師斡旋（農業経営者）の実施

消費者・国民への理解促進
農業法人・法人協会の魅力の向上

8

6) 協会の活動（新たな取組）

■ 次世代農業サミット

若手農業者のネットワークの構築や次世代農業の創造・発展に向けた研修会を開催！

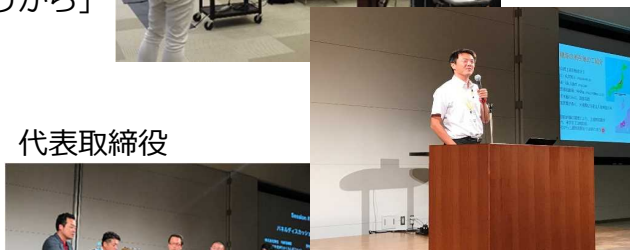
- 日時：平成29年8月17、18日
- 場所：東京ビッグサイト 会議棟
- 参加人数：111名
- プログラム：

<1日目テーマ「地域農業のグループ化」>

1. 基調講演 「良い作物を作るには、良い人づくりから」
(株) 鈴生 鈴木貴博 代表取締役社長
2. パネルディスカッション (パネリスト)
(株) 鈴生 鈴木貴博 代表取締役社長
(株) やまがたさくらんぼファーム 矢萩美智 代表取締役
農林水産省 木村崇之 課長補佐

<2日目テーマ「他産業からの農業参入と経営」>

1. 基調講演 「他産業からの農業参入と経営」
(有) 穂海農耕 丸田洋 代表取締役
2. パネルディスカッション
(有) 穂海農耕 丸田洋 代表取締役
(株) ドロップ 三浦綾佳 代表取締役



«次回開催»
平成30年
2月26日、27日

9

6) 協会の活動（GAPへの取組）

- 会員のGAP認証導入実績（資料：日本農業法人協会「農業法人白書」）
平成23年度 31社 → **平成28年度 82社（取得中・検討中：232社）**

■ 最近の取組実績

《取組①》

農産物の国際水準GAP認証取得に係る事業説明会の開催

- ・ 日程・会場：平成29年1月～2月 9会場
- ・ 内容：①GAPの推進について
②事業内容及び応募手続きについて
- ・ 参加者数：817名

《取組②》

農業生産工程管理（GAP）に関する情報交換会

- ・ 日時：平成29年6月16日
- ・ テーマ：①農業生産工程管理に関する施策紹介
②認証支援3団体等からの情報提供
- ・ 参加者数：62名

■ 今後の取組

- 2020年東京オリンピック・パラリンピックの食材調達基準を達成できるよう情報発信等の支援
- GAP認証取得のための情報発信等の支援